

第1回認知症専門部会 からの報告

R3.712開催

今年度の新規事業について

- 1 - 1 もの忘れ検診について
- 1 - 2 チームオレンジの取組について
- 2 認知症サポーターカードについて

1-1 もの忘れ検診について

【令和3年度もの忘れ検診の概要】

目的	<ul style="list-style-type: none">・もの忘れの症状が軽度のうちに認知症に早期に気づき、適切な医療や介護予防の取組みにつなげ、住みなれた地域での生活を維持する。・認知症の正しい知識の普及啓発
検診の対象者	70歳・75歳の区民（およそ13,000人）のうち 「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」の点数が20点以上の希望者、または、認知症に心配のある希望者 ※認知症の診断を受けている方を除く
実施機関	区内138か所の医療機関（練馬区医師会） 10月現在
自己負担額	無料
検診期間	令和3年10月1日～令和4年2月28日
認知機能検査 (いずれか)	<ul style="list-style-type: none">・改定長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）・Mini-Mental-State-Examination（MMSE）
検診後の支援	<ul style="list-style-type: none">・地域包括支援センターによる相談や訪問等の支援・専門医療機関の紹介・介護予防事業の紹介 等

【もの忘れ検診の広報について】

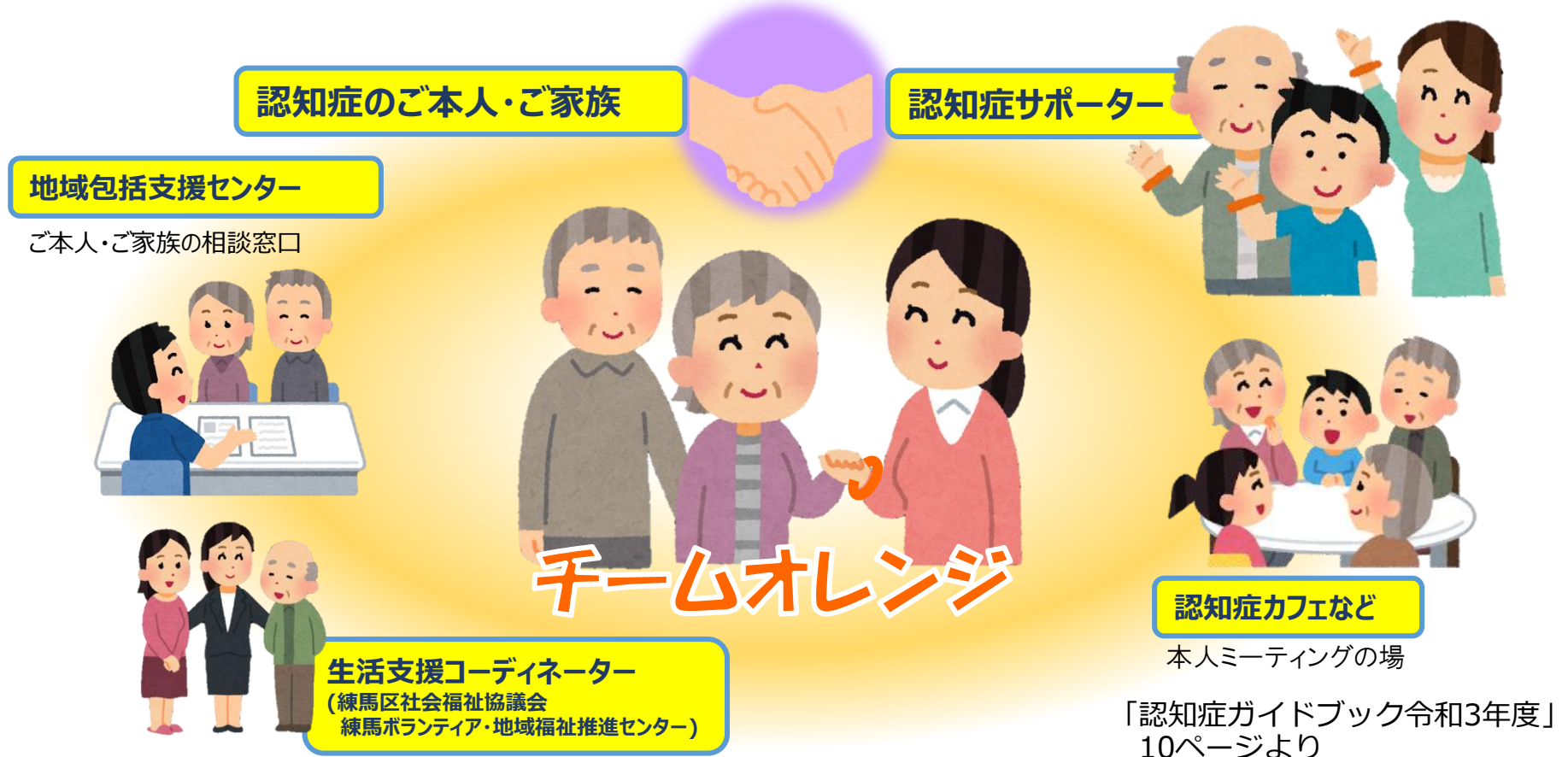
媒体	時期等
区報	4月1日号、5月1日号、9月21日号特集ページ
ホームページ	掲載中（随時更新）
認知症ガイドブック※ 令和3年度（4月発行）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター、区役所等で配布 ・検診の対象者（70歳と75歳）に郵送
ポスター	区立施設・実施医療機関に掲示（9月） 公設掲示板（12月予定）
高齢者の生活ガイド※ 令和3年（7月発行）	・区役所、地域包括支援センター、図書館等で配布
ねりまほっとライン	9/24（金）～9/30（木）
その他	おたっしゃだより R3年度第3号 ※民生児童委員の協力により地域に配付している情報誌

【受診促進のための課題や方策について各委員からの意見】

- ・ 早期発見・早期対応の大切さを伝えるには・・・
地域、家族の方へ認知症の正しい理解を広げ認知症の偏見をなくすことが大切
- ・ 心配がある方を受診に繋げるには・・・
自分が認知症かもしれないと思っている人は、自覚がないわけではなく、何か不安だと思っているので、そこでチェックされると相当ストレスがかかる。早期発見早期対応してよかったという事例のエピソードを話し、検診をすすめる。
- ・ 検診結果に対する不安の軽減には・・・
何でもなかったらいいじゃないというように促しながら関わっていくのもいいことだと思う。
- ・ 広報にできる工夫や取組みは・・・
無料で検診が受けられるというのは良い機会として使ってほしい。

1-2 チームオレンジの取組みについて

【練馬区のチームオレンジ（イメージ図）】



まずは、地域包括支援センターが中心となって、**本人ミーティングを開催し**、
ご本人の声を聴く機会を設けていきます。

認知症の方本人による地域活動の実施 (流れイメージ)

①地域包括支援センターでの認知症に関する相談

●ご本人・ご家族との相談により、生活上のニーズを把握する。介護保険サービス等でまかなえない事柄について、チームオレンジでの対応を念頭に相談する。

地域包括支援センター



②街かどケアカフェなどを活用した本人ミーティングの開催

●街かどケアカフェ等、ご本人・ご家族がゆるやかに通える場を紹介、利用し、拠点やカフェ運営者になじんでもらう。
●通いの場にご本人・ご家族、認知症サポーターなどが集まり、悩みごとの解決や、具体的な活動について話し合う。



ニーズの聞き取り、記録

地域での活動について検討

③チームオレンジ活動

●ご本人・ご家族とオレンジパートナー等が活動を行う。適時、ミーティングで振り返りを行う。

活動の支援・応相談



活動継続

ご本人・サポーターの自主的な地域活動へ

参加・協力の呼びかけ

N-improを活用した認知症勉強会の参加者

認知症サポーター
※地域で養成

認知症サポーター・ステップアップ講座受講者

高齢者支え合いサポーター育成研修修了者
※区から各包括へ情報提供

参加・協力

参加・協力・主催

認知症サポーター等

●本人ミーティングから出てきた意見をもとに、具体的な活動に認知症サポーター等が主体的にかかわる。
●必要に応じて、企業や商店などの地域の職業サポーターとも一緒に活動をする。



情報共有・連携

生活支援コーディネーター

情報共有・連携

【認知症サポーター等への働きかけ】

各地域にいる認知症サポーターや、地域のボランティア等、地域で活動している方々に、チームオレンジ活動や本人ミーティングの主旨について理解を促し、一緒に活動していく。

チームオレンジ活動の参加のご案内

- 地域包括支援センターで実施する住民向けの認知症に関する勉強会(N-improの活用を含む)や認知症サポーター養成講座
- 区主催の認知症サポーター養成講座
- 認知症サポーター・ステップアップ講座受講修了者
- 高齢者支え合いサポーター育成研修受講者・修了者 など

※地域で活動している方や、地域の団体等、地域資源の情報収集について・・・
区、各地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、ボランティア・地域福祉推進センターや各ボランティアコーナー等と連携・情報共有をしていく。

【チームオレンジの取組みについて委員からの意見】

- チームオレンジという形で行っていくことに対してお願いとして、お困りごとを解決するというスタンスではなく、認知症のご本人がしたいこと、生活の幅を広げたり、楽しみにすることをサポートする良い形になっていただきたい。
- 認知症サポーター養成講座の際にチームオレンジの紹介をした場面で、とても興味を持って質問をしてくださった方がいた。
- コロナ禍で、集まることのハードルが上がってるが、オンラインでやるのが厳しい方もいるので、感染対策をして本人ミーティングを続けている。感染を抑えることも大切だが、感染対策をしながら行える方法論を考えていただきたい。

2 認知症サポーターの証として

「認知症サポーターカード」の配布開始

オレンジリングの無料配布終了（R2年度末）に伴い新たに認知症サポーターカードを作成しました！

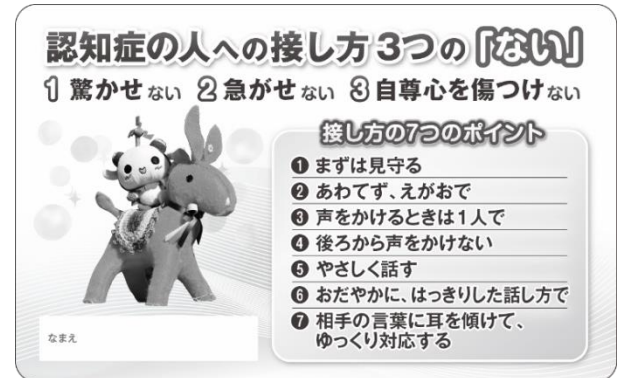
練馬区のデザインには地域包括支援センターを利用する区民の方が作成したオレンジロバ（認知症サポーターキャラバンのキャラクター）を採用しています。

（表）



認知症サポーターとしての心得を確認！

（裏）



認知症サポーターキャラバンとは…

全国キャラバン・メイト連絡協議会では、自治体等と協催で認知症サポーター養成講座の講師役（キャラバン・メイト）を養成しています。キャラバン・メイトは自治体等と協働して「認知症サポーター養成講座」を開催しています。